

日本毒性病理学会共催 Instem イブニングセミナー

# デジタル・パソロジーとバイオインフォマティクス

## Digital Pathology and Bioinformatics

日時 2024年1月22日(月) 18:00 事前登録者受付開始

会場 品川区立総合会館きゅりあん 6階大会議室

\*日本毒性病理学会の共催ですが、飲食定員のため事前登録が必要です。

\*会場へは登録者のみ入場が可能です。

形式 一流シェフによるエスニック・ブッフエ (ご飲食は着席にてお願いします。)

定員に達しましたので、受付を締め切りました。  
多数のご登録ありがとうございました。

Web参加は登録不要です。  
学術集会参加者にはZoom参加用URLをお送りします。

## プログラム

18:30 - 19:10

### 姿を現した革新的病理イメージング・ツール

#### Unlocking Insights: Revolutionary Pathological Imaging Tool

講師 Speaker Reto Aerni, 北原輝和 Instem Japan.

座長 Chair Professor Dr. Anzai Takayuki, PhD, MBA, 安齋享征 昭和大学医学部

病理組織標本のデジタル画像を安全性評価に用いることは、もはや常識となりつつあります。これからのパソロジストは、いかにデジタルツールを使いこなせるかが力の差となって現れてくるでしょう。今回は最新のイメージング・ツールを紹介します。

19:20 - 20:00 (Q&A 19:50-20:00)

### パソロジストのためのトランスレーショナルリサーチ

#### The Pathologists Guide to Utilizing Translational Safety Data

講師 Speaker Dr. Brenda Finney, PhD, Instem's Director of Translational Solutions

座長 Chair Professor Dr. Anzai Takayuki, PhD, MBA, 安齋享征 昭和大学医学部

製薬業界におけるトランスレーショナルセーフティは、前臨床試験および初期臨床試験で有望性が示された治療薬をいかに安全かつ効果的に臨床現場に導入できるかが重要です。トランスレーショナルセーフティには多くの側面がありますが、ここでは、標的生物学を包括的に認識することで、パソロジストが潜在的なリスクを効果的に評価し、医薬品を効率的に市場に投入できるようにする方法に焦点を当てます。

20:00-20:10

### Free discussion

20:15 終了

定員になり次第締切となります。お申し込みは Instem 各担当までお早めに！